ていたのです。下でも危険にさられてなり、衛生面が関し、衛生面

までが特にひどく

http://chofu-kankyo-shimin.org 発行部数:1000部 ちょうふ環境市民会議

> 所もありました。 しているような場 流では水が染みだ

今年も降水量は

うな河川状況です はまた当時と同じよ 少な目で、6月上旬

(※6月中旬から梅

ている。

ではまた流量は戻っ 雨入りをし、現時点

道が未整備だったため、 な直線を描いています。

そのため、

2019.7

昨年の野川の枯渇を覚えてい

かなく、 野川が枯渇してしまい調布警察横 (甲州街道) 月からの降水量が例年の2%し 5~8月までの長期に渡り、 ますか? また記録的な酷暑であった から神代団地下あたり

帯水層ではなく、浸透層で床の位置(深さ)です。こ在の野川になりましたが、 がどんどん抜けてしまいます。 浸透層であり、 この地層は 問題は河 水

> でした。 対応の為、 粘土を運び、 埋設したの

> > 0

度々この件を建設局に報告し、 も目立ちます。一昨年の枯渇の際も して粘土層の劣化を訴えていました。 の粘土層がむき出しになっている箇所 それから20年近く。 水量の減少は武蔵野のハケを含 現在では河

低い野川は、蛇行していた為に大雨生活排水を流しており、流下能力が そして蛇行箇所の見直しを行って現 により度々浸水被害を起こしていま と現在の野川は工事により真っ直ぐ 戦中の米軍の航空写真と比較する 川幅を広く、 常に野川に 戦後は下水 N 野川の概要 流域面積 69.6 km 流路延長 20.2 km 野川流域 国分寺市 仙川 小金井市 武蔵野市 三鷹市 野川宿橋 府中市 間川 調布市 世田谷区 凡 小田急網 狛江市 事業説明会範囲 整備済(時間 50mm/hr) 河床整備予定(護岸整備済)

昨今ではゲリラ豪雨による河川の氾濫 が問題となり、野川においても野川河床 整備が東京都で計画され、現在下流側か ら上流側に向け改修が進み、今年度から 調布市側に入り野川橋までの2kmの区間 の計画が発表されました。工事では豪雨 による治水対策及び、浸透による枯渇を 防止するために河床への粘土張り対策が

実施される予定です。 岡部(野川流域連絡会委員) 絡会委員)

野川の学校代表 影響は今後もウォッチしていきます。 (野川流域連 生き物への 雑木林が大切だったのです。 やはり長期の保水能力は雑木林の持 おり、 宅メーカーは環境配慮を売りにして つそれに全く敵いません。それだけ している雨水浸透マスを採用してい 確かに新築の戸建に対して、 調布市や三鷹市で補助金を出 地面に吸い込まれます。 屋根に降った雨は下水には行 減少もその大きな一 が、

境の為になる工事になればと願って 事ですから、 の予定です。 ら約2㎞を7年間に分けて河床掘削 工事と合わせて粘土の張替えも実施 今年の冬から、喜多見のあたりか 流域の活動家として、 莫大な費用も掛かる工 無駄のない、 野川の環

の名の始ま

で、

そ 仲 の 0)

が月見草

にかけて本州

大正から昭和

見草の名で呼ばれる植物

産とするこの花である。 北米テキサスからメキシコを原 ダ船が観賞用として運んできた 江戸時代の終わりごろ、 の名が最初に付けられたのは、 カを原産とするもので、 そのほとんどは南北アメリ にはたくさんの種類があ 月見草 オラン

との花が月 飯沼慾斎は 本草家の 花の履歴 書

54

戸部英貞(絵・文)

アカバナ科 ツキミソウ (月見草

開くことか の出る頃に

ら名付けた

イグサが渡

栽培さ

間

のマツヨ

同じ

Oenothera tetoraptera

大群落を作っ

まった。 今では見られ 尽くすような や海岸を埋め 各地で河原 なくなってし ていた場所も

千葉県銚

のが逸脱帰 れていたも

でオオマツヨイグサ、

コマツヨ

直した天下茶屋の前にメマツヨ オマツヨイグサは、 見草がよく似合ふ」と書いたオ 岳百景』の中で、「富士には、 草」も今では歌碑だけが寂しげ を竹下夢二が詠った「宵待ち 子の海岸を彩ったマツヨイグサ イグサに縄張りを譲っている。 に立っている。また太宰治が『富 新しく建て 月

培されているが、夕刻に花を咲

生化はしなかった。今日でも栽

の風土に馴染めなかったのか、野

しかし、本来の月見草は日本

来、どれも夕方から花が開くの グサ、メマツヨイグサなどが渡

で、月見草の名で呼ばれてきた。

かせ、早朝にはピンク色に萎れ

どまれな植物になっている。 幻 てしまうこの儚い命の持ち主は、 の月見草として紹介されるほ

所でげんきにそだっている。 くさんの種子がばらまかれた場 だんだんと衰退してしまい、 えにすると最初は元気に育つが :間は嫌地の傾向があり、 ツキミソウだけでなく、 との 鉢 植 た

たものも同じ 野生化 嘉永年間

4月18日

5月26日

ました。

このルリタテハBは6月

スカスカの状態で死んでい

がったままです。残念なが

ら寄生蜂に取り付かれたか

体「ルリタテハB」です。

為に用意していたサブの個

元々の個体は、まだぶら下

る事にしました。 す。成虫になるまで観察す た。滅多に無いチャンスで もれる小道脇の イバラ」に卵を産み付まし 「ルリタテハ」が薄日が 「サルトリ

ツヨイグサも

に渡来したマ



4月29日

えない小ささです。 リ弱です。黒い点にしか見 化しました。大きさは2~ 産卵後11日目、 無事に解

5月14日

の葉に戻しました。 と約20分、やっと見つけ元 りません。さあ、大変です。 枯れ葉に同化したか見つか リと落ちました。幼虫は ろうとしたら、幼虫がポロ 1枚1枚枯れ葉をめくるこ 孵化後16日目、写真を撮

育っています。 ぞ」という脅しでしょうか。 味があるのでしょうか。 にトゲが全身にあります。 幼虫は、葉を切り込む様に べたらトゲがささり「痛い 虫。写真の様に赤褐色の肌 丁寧にかじって食べ順調に このトゲにはどのような意 孵化後28日目、終齢 食

5月28日

の突起を持ち、背面に います。茶褐色で頭に1対 付け逆さまにぶら下がって ました。蛹は茎に糸をくつ (の字」の銀白紋あります。 孵化後30日目。 蛹になり

ースしました。

通常より2週間以上日数が るようです。今回の観察は から8日で羽化し成虫にな で70点です。図鑑によると、 八の観察・飼育は自己採点 サブのルリタテハBが羽化 この時期産卵後4日で孵化 し孵化後22日で蛹になり蛹 してくれたので、ルリタテ 本命は失敗しましたが、

かかりました。(衛藤 譲)

写真は「ルリタテハ」生まれも 育ちも入間町2丁目緑地です。 ここ入間町2丁目緑地では、中 一貫校のドルトン東京学園が 開校し放課後にはサッカーに興 じる声が聞こえて来ます。



います。よく見るとこの個 体は、飼育が失敗した時の した。飼育箱で飛び回って 嬉しい事に羽化していま

影をして生まれた緑地にリ テ八Bは、手の上で記念撮 蛹から10日で成虫になりま 11日に蛹に成ったもので、

した。羽化したてのルリタ

ジミチョウを見

ンキチョウ・シ シロチョウ・モ

かけた。

樹林の会

■4月21日日

[晴れ]

■4月13日土

[快晴]

■4月14日 目

[曇り]

[快晴]

T

ľ

r

違いを教わる。キンラン・ニ キケマンの葉の出方のプチ シマソウ・シャガ・ムラサキ リンソウ・キランソウ・ウラ てきていた。シャクとムラサ ス)がシャガの森にはびこっ ツタ(ヘデラカナリサエンシ 植生調査を全員で行った。 参加10名

キコがよく鳴いていた。

ップニンジンなどの花。

ワカケホンセイイン

ケマン・ホウチャク

ソウ・ヤマグワ・ヤ

で行った。クヌギ伐 の下草刈りを全員

|**5月19日**||[晴れ] 参加 8名 雑木林広場上部

雑木林広場下草刈り

山の会

す。 ちのコナラについて折れ側 棄場を作り、上段に仮置き を伐倒。駐車場奥に枝の廃 残っていた最上段部2本立 ら搬出する手だてを要す) してあった廃枝を全て移 台風による枝折れ処理の (中段下段全てを森か 参加9名

■5月6日火祝 [晴れ]

草刈と枝落としを行った。 ■5月11日 王 [晴れ]

からアースデイに竹を持ち込み 刈のあと、太い竹を伐採。午後 キャンプ場北の苗圃内外の草 参加9名

貯金箱作りを教えた。 6月8日 生[曇り]

たところにトキワ

してきているので伐採が必要 |6月16日||[晴れ]||参加1名

他にサネカズラが繁茂

採後の明るくなっ

今後が楽しみ。午後は講座実習 のお手伝い。キャンプ場北部分 ショウと思われる植物発見! 東の草刈り。ミミガタテンナン を刈ってもらってすっきり!

みの切れ味によって作業効率が違 立つようになった。鎌や剪定ばさ きれいに刈ったのでアジサイが目 雨水留め作業を行った。三角地を

三角地の下草刈りと坂上上部の

用の丸太を用意した後は東樹林

25日に少数を確認)

■6月9日[□[小雨]参加3名

大雨が予想されたので、北側

第1緑地では、

杭設置とハラ

雑木林ボランティア講座実習

アシドクガ多数の乱舞に驚いた

今年は見当たらない

(5月

の花が満開に。 を伐採。ミズキ

年前は白いキ

つのできちんと手入れが必要であ

る。トカゲ・ナナ

シ・ヘビ・モン ホシテントウム



桑の実を「発見」。黒くなって のため、最小限の作業で早仕舞 道路側溝の落葉を除去。雨模様

> に越境しそうなシラカシ上部を ン移植による土留め作業。隣地



講座草刈り実習後

こう甘い

長が著しい。急遽、東樹林東の 気候が良くなるにつれ草の成 臨時作業 参加6名 側を暗くしてい たモチノキ1本 ■5月12日 回[晴れ]参加7名 青空広場の南



型化して群生。ギンランは、

- 緑地は1株だけ(シラカシ多

観察。第2緑地のキンランは大

キンラン、ギンランの調査

の森 3.1

会 ■4月7日日

緑地の会

緑地下段「南広場」で

第2緑地で

参加フ名

栅)。 地保護柵整備 キンラン生育 (ロープと竹

央通路の土留め作製 西側中

凸凹森の会

■5月5日回[晴れ]

こと。来春もっと増えてい

調布でも希少種との

ますように

き、低い杭を巡らせて保護 すいように周辺の落葉を除 めて観察。種子が発芽しや マルバスミレの開花を初

側に新たに開花。 数伐採の影響か)、 第2緑地南

第1緑地は、コンポスト柵補

界を自主的に伐採 キノシタ)。第2 緑地北側の隣地境 植生実験(ユ



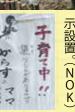
■6月2日 [曇り]参加8名

















とても採りきれ まで鈴生りで、

穫。伸びた枝先 [晴れ]参加11名 6月2日日 ウメの実の収

刈りとなり大 沢山伸びていま 竹の子がかなり 変!採り残した



ど豊作でした。 お持ち帰り ど、大勢の 配したけれ ができるほ 参加者が皆 採れるか心

■4月14日 回[晴れ]

定例会を前倒しして竹の 今年はどれくらい

水辺の楽校 | 5月18日田 曇り時々晴れ

令和元年の開校式とガサガサ(魚とり)を実施しました。 参加は、調布市内児童 152 名と保護者 131 名で合計 283 名の超大所帯!

ボランティアスタッ フは、10 数名。受け 付けから大混乱でし た。ライフジャケッ



ト、手網配布、保険料徴収。その間、川やサイクリングロードに近づかないように注意喚起も行いました。

そして開校式・安全講習会・ガサガサ説明会を行い、いざ出陣(出水)。ガサガサ・投網・追い込み漁などいろんな方法で魚を捕らえました。

国内種が非常に少なくなっています。また、アユは上河原堰を遡上できずに堰下にとどまっているとのこと。さて、捕まえた生き物は?何かな。(水辺の楽校サポーター 池ノ内)



【在来種】オイカワ、ウグイ、カワムツ、コイ、メダカ、スミウキゴリ、ヨシノボリ、ドジョウ、ヒガシシマドジョウ、ヤゴ(数種)など。 【外来種】コクチバス、グッピー、

アメリカザリガニ、オタマジャクシ(ウシガエル)など。

次回は7月21日(日)にガサガサを実施予定。 ボランティアスタッフも募集しています。

環境フェア 6月1日田

-環境市民会議ブースでは-

今年の丸太切りトライアルは子供にも無理なく切り易いように細めの木材を用意したところ、何と下は3歳から40歳台まで計33



人のチャレンジがありました。

体が小さく、なかなか切り落とせない子も保護者の手伝いを拒否し汗だくになりながらも遂には切り落とすと、その奮闘に見ていた周りの大人も大拍手。誰にも楽しめるイベントとして継続していきたいと思います。

その他、少人数の参加ながら「野の花めぐり」として市 役所周辺の野草を観察しました。ありふれた草木も詳しい 説明を受けると「なるほど!」と楽しい時間になりました。

環境活動交流会

6月14日金~20日日

~ ちょうふ再発見~ 里山のあるまち ●企画・運営:ちょうふ環境市民会議

今年も環境活動グループの パネル展示や交流カフェとし て環境に関するおしゃべり会 などを開催しました。

メインは 16 日の講演会 「深・佐須の畑をたがやしたい」 〜調布の里山保全と都市農 業をどう活かすか〜

講師には調布で都市計画 審議会会長をなさっている 大橋さんと、実際にむさしの 農業ふれあい村を代表とし





て運営している齋藤さんにお願いしました。

大橋さんには都市農業の政策の変遷などの詳しい状況と 調布市内でのこれからの都市農地の可能性や計画を具体化 するためのやり方などのお話を聞きました。また齋藤さん には市民を対象にした公園としての農地、福祉とかかわる 農地など、ふれあい村での楽しい映像を見せていただきま した。ふれあい村については「是非実際に見てみたいので 環境市民会議で見学会を設定してください」などの意見も 聞かれました。

雑木林保全活動のスケジュール

入間・樹林の会

毎月第3日曜に樹林の保全活動を行っています。 参加希望者は直接入間地域センターへ。

- **7月21日** 回 **9:30~13:30** 保全活動、植生調査、入間町 2 丁目樹林地観察会
- 8月18日 回 9:30~12:30 保全活動

カニ山の会

毎月第2土曜に自然広場で保全活動を行って います。参加希望者は野草園横に直接集合。

- ●9月14日 ± 10:00~15:00

若葉緑地の会

原則毎月第2日曜に若葉町3丁目第3緑地で保全活動を行っています。参加希望者は直接現地へ。

- ●7月14日目9:30~12:00
- ●8月11日目9:30~12:00
- ●9月8日 日 9:30~12:00

若葉の森3・1会

原則毎月第1日曜に若葉町3丁目第1・2緑地で保全活動を行っています。参加希望者は直接現地へ。

- 8月はお休みです
- ●9月1日回9:30~12:00
- ●10月6日 🗉 9:30~12:00

凸凹森の会

原則第4日曜に保全活動をしていますが、夏 休みは変則。雨天中止。

- 7月14日 回 9:30 ~12:00 保全活動
- 7月28日 回 9:00 ~13:00 流しそうめん
- ●8月25日回 9:30~16:00 安全講習会



※上の5団体の保全活動問合せは、調布市役所「緑と公園課」Tel. 042-481-7083 へ

- ◆「ちょうふの自然だより」は、カンパとボランティアで支えられています。2009.3.15に設立された市民団体「ちょうふ環境市民会議」が自主発行しています。 調布市内の身近な自然情報や市民の保全活動の記録、環境イベント案内、コラムなどを掲載、無料で配布しています。
- ◆本誌は、地域福祉センター、たづくり11Fみんなの広場、調布市環境部(市役所 8F)、あくろす2・3F、多摩川自然情報館のほか、神代植物公園植物多様性センター、 てらのサウルス(国領)、えねこや、みさと屋(布田)、おぎもと内科クリニックなどに置いています。

本誌の「置き場所&応援カンパ」募集中です! ◆会員募集! 年会費 ●会員:1000円/●サポーター会員:500円 郵便振替(00150-9-765663 ちょうふ環境市民会議)

発 行:ちょうふ環境市民会議 連絡先:info@chofu-kankyo-shimin.org ※携帯メールでのお問合わせには当方の返信が届かない場合があります。

この「ちょうふの自然だより」は、ちょうふ環境市民会議ホームページにも掲載、バックナンバーもご覧になれます。 http://chofu-kankyo-shimin.org